

中国ビザガイド & サポート

中国ビザガイド

この中国ビザガイドは、中国本土へのビザ申請を明確・迅速・信頼できるプロセスで準備できるよう設計されています。

有効なパスポートや渡航書類を所持している外国人は、観光、親族訪問、またはビジネス目的など様々なビザの申請が可能です。

記載されている情報は予告なしに変更される可能性があるため、必ず中国大使館または領事館の公式ウェブサイトにて最新情報を確認してください。

ビザ申請の基本条件

- * パスポート：有効期限が6ヶ月以上あり、査証欄が2ページ以上残っているオリジナルのパスポート
- * ビザ申請書と写真：記入済みの申請書と、最近撮影されたカラーのパスポート写真（白背景）
- * 合法的な滞在証明：第三国から申請する場合は居住許可証などの証明書が必要
- * 18歳未満の未成年者：出生証明書と両親のパスポートコピーが必要

ビザの種類

- * Lビザ：観光目的
- * Q2 / S2 ビザ：中国にいる親族の訪問
- * Mビザ：商業活動や貿易関連
- * Fビザ：文化交流、短期研修、スタディツアー
- * Zビザ：就労目的
- * Xビザ：中国の学校や大学での留学

各ビザの必要書類

1. Lビザ（観光）

- * 旅行日程表
- * 移動手段の証明（航空券または列車の予約）
- * 宿泊予約の証明書

2. Q2 / S2 ビザ（親族訪問）

- * 親族関係の証明（婚姻証明書、出生証明書、公証された親族証明など）
- * 招待者の中国身分証または中国居留許可付き外国パスポートのコピー
- * 招待状（以下の情報を含む）：
 - * 訪問者の氏名、性別、生年月日
 - * 渡航目的、到着日・出発日、招待者との関係
 - * 招待者の氏名、連絡先、住所、署名

3. M ビザ（ビジネス）

- * 中国企業からの招待状
- * 企業の営業許可証のコピー
- * 招待状には以下の情報が必要：
 - * 訪問者の氏名、性別、生年月日
 - * 渡航目的、日程、訪問場所、関係性、費用負担の有無
 - * 会社の連絡先、住所、署名、公式印

4. F ビザ（文化交流・短期研修）

- * 関連する中国団体からの招待状
- * 招待状には以下が含まれる：
 - * 訪問者情報
 - * 交流の目的と日程
 - * 招待者との関係
 - * 連絡先、署名、公式印

5. Z ビザ（就労）

次のいずれかを提出：

* 中華人民共和国就業許可証 + 招待状または認証書

* 外国人専門家許可証 + 招待状または認証書

* 駐在事務所登録証明書 + 招待状または認証書

***注意：**Zビザ所持者は、中国入国後 30 日以内に居留許可を申請する必要があります。

6. Xビザ（留学）

* 中国の教育機関からの入学許可書（原本とコピー）

* JW201 または JW202 フォームの原本とコピー

***注意：**Xビザ所持者も、中国入国後 30 日以内に居留許可を申請する必要があります。

免責事項：このガイドは参考用です。法的解釈においては中国語版が優先されます。ビザの承認、種類、有効期間、入国可否などの最終決定は中国大使館・領事館の判断に従ってください。

中国のビザ免除対象国および滞在期間(2025 年 6 月時点の公式情報に基づく)
短期間（15 日または 30 日）の旅行を予定している場合、ビザ申請を避ける便利で費用対効果の高い選択肢となる場合があります。

重要な注意点：

* 多くの国籍は依然としてビザが必要です

* ビザ免除の滞在は延長や他のビザへの切り替え不可

* ビザ免除入国は、観光、ビジネス、親族訪問、または乗り継ぎ目的に限定されます

ビザ免除対象国と滞在可能日数：

国名	滞在可能日数	備考
日本	15 日	一時的措置（2025 年 12 月 31 日まで）
シンガポール	15 日	一時的措置（同上）

ブルネイ	15 日	一時的措置（同上）	
モンゴル	15 日	一般旅券保持者対象	
タイ	30 日	2024 年 3 月より開始	
マレーシア	30 日	2023 年 12 月より開始	
フランス	15 日	一時的措置（2025 年 12 月 31 日まで）	
ドイツ	15 日	同上	
イタリア	15 日	同上	
オランダ	15 日	同上	
スペイン	15 日	同上	
スイス	15 日	同上	
ハンガリー	15 日	同上	
オーストリア	15 日	同上	
アイルランド	15 日	同上	
ルクセンブルク	15 日	同上	
ニュージーランド	15 日	同上	

湾岸諸国・ラテンアメリカ諸国（特別ビザ免除）

国名	滞在可能日数	有効期限	
サウジアラビア	30 日	2026 年 6 月 8 日まで	
オマーン	30 日	同上	
クウェート	30 日	同上	
バーレーン	30 日	同上	
ブラジル	30 日	2026 年 5 月 31 日まで	
アルゼンチン	30 日	同上	
チリ	30 日	同上	
ペルー	30 日	同上	
ウルグアイ	30 日	同上	

ASEAN 多年度ビジネスビザ（ビザ免除ではありません）

* 対象国：インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア、東ティモール

- * ビザの種類：ビジネスビザ（免除ではない）
- * 滞在期間：1回の訪問あたり最長3ヶ月、有効期間最大5年、マルチエントリー可能
- * 家族の対象：配偶者および子供も対象

中国ビザサポートサービス

私たちは、ビザ申請の全過程において、専門的なサポートを提供しています。留学、芸術、文化体験を目的とした渡航を計画している方を対象に、中国書道、陶芸、絵画、武術、アーティスト・レジデンスなどに参加する国際申請者を支援しています。

通常、私たちのプログラムは3～6ヶ月の期間で構成されており、参加者は合法的に中国に滞在・学習できるビザを申請できます。学生ビザおよび観光ビザ申請のための必要書類をすべて提供し、手続きの簡略化を図ります。

サポート対象のビザタイプ：

1. X1 ビザ – 長期留学用ビザ（180日以上）

必要書類：パスポート、入学許可書、JW202/201、健康診断書（必要時）、証明写真

入国後30日以内に居留許可の申請が必要

2. X2 ビザ – 短期留学用ビザ（180日未満）

有効期間：30日～180日

必要書類：パスポート、入学許可書、JW202/201（必要な場合）、健康診断書、写真

3. L ビザ – 観光ビザ

滞在可能日数：30日以内（延長可能）

有効期間（回数）：

- * シングル（3ヶ月）
- * ダブル（6ヶ月）

- * マルチ（6～12 ヶ月、場合により）

4. M ビザ – ビジネス/貿易ビザ

滞在期間：通常 30、60、または 90 日（招待状により異なる）

有効期間（回数）：

- * シングル、ダブル、またはマルチ（6 ヶ月または 1 年）
- * 一部の頻繁渡航者（特に米国市民）は 2～10 年のビザを取得可能

5. F ビザ – 文化交流・短期研修

滞在可能期間：通常 30～90 日

有効期間（回数）：

- * シングルまたはダブル（最大 6 ヶ月）
- * 招待団体が認定されている場合はマルチエントリーも可能

ビザ申請をサポートするために提供する書類：

- * ChineseSources.org 発行の公式留学ビザ招待状
- * 宿泊施設の予約確認書
- * ビザ申請を補助する支払い領収書

時間とコストを節約するため、デジタルコピーの送付も可能です。原本が必要な場合は、DHL による郵送（追加料金が発生）を提供しています。

ステップバイステップ：ビザの申請方法

1. 有効なパスポートのコピーをお送りください
2. 当方より公式なビザ招待状等の書類をお送りします
3. 最寄りの中国大使館または領事館で申請を行ってください
4. ビザが発給されたパスポートを受け取り、中国渡航の準備を進めてください

よくある質問（FAQ）

Q. ビザ書類の原本は必要ですか？

A. 領事館や大使館によって異なります。当方または最寄りの領事館にご確認ください。

Q. ビザの費用はいくらですか？

A. 国によって異なります。現地の中国大使館でご確認ください。

Q. ビザ書類の配送にかかる日数は？

A. DHL を利用して通常 3～5 営業日（地域によって異なります）。

Q. 学生ビザの申請にはどれくらいかかりますか？

A. 通常 3～7 営業日です。一部の領事館では 24 時間以内の急行サービスもあります。

Q. 数ヶ月前から申請できますか？

A. 通常、出発の 3 ヶ月以内に申請するのが一般的です。

Q. 宿泊証明は必要ですか？

A. はい。申請に必要な宿泊証明は当方が提供いたします。

Q. 貴社プログラムに参加しない場合でも学生ビザは取れますか？

A. いいえ。当方のプログラム参加者のみを対象にビザ関連書類を発行します。

Q. 招待状の発行にはどれくらいかかりますか？

A. 通常は予約完了後 1 営業日以内に発行されます（繁忙期は遅れる場合があります）。

Q. パートタイムの学生でも申請できますか？

A. フルタイムの学生のみが対象です。中国では個人は週 10 時間以上、団体は週 20 時間以上の学習が必要です。

Q. 観光ビザで勉強できますか？

A. はい、最大 30 日間可能です。必要に応じてビザ延長のお手伝いもできます。

Q. 学生ビザは日付指定ですか？

A. いいえ。有効期間（例：180 日）は入国日からカウントされます。

Q. ビザ申請は誰が行いますか？

A. 申請はご本人が行いますが、当方が書類準備などを全面的にサポートします。

Q. ビザ申請センターとは何ですか？

A. 一部の大使館は外部の申請センターを利用しています。これらは大使館ではなく、書類の受付と確認を行う機関です。

Q. Xビザとは何ですか？

A. Xビザは中国の留学ビザで、「学习」（学習）の拼音「xué xí」に由来しています。

Q. ビザにある「エントリー（入国回数）」とは？

A. 中国に何回入国できるかを示しています。

* シングルエントリー（01 / 壹）：1 回入国

* ダブルエントリー（02 / 貳）：2 回入国

* マルチエントリー（M / 多）：複数回入国

Q. パスポートの有効期限が 6 ヶ月未満でも申請できますか？

A. お勧めしません。有効期限が 6 ヶ月未満の場合は更新を強く推奨します。

Q. 中国には 10 年間有効な観光ビザがありますか？

A. はい。米国および一部のカナダ国籍者には有効です。複数回の入国が可能ですが、60 日ごとに出国する必要があります。

中国にビザは必要ですか？

はい。ほとんどの外国籍パスポート保持者は、観光またはビジネス目的で中国本土に入国するためには、事前にビザが必要です。

ただし、香港またはマカオに 30 日以内の滞在のみであれば、ビザは不要です。

重要：香港から中国本土へ短期間でも移動する場合は、別途中国ビザが必要です。

観光ビザとビジネスビザの違いは何ですか？

*観光ビザ（Lビザ）**：観光や観光地訪問などのレジャー目的
*ビジネスビザ（Mビザ）**：商談、展示会、取引交渉などのビジネス目的
ビジネスビザには通常、中国企業からの招待状が必要です。ただし、観光ビザでビジネス目的の軽微な活動を行うことが黙認されている場合もあります。

どの種類のビザが必要ですか？

ほとんどの旅行者には**シングルエントリービザ**で十分です。

一般的な条件：

- * 発給日から3ヶ月間有効
- * 入国日から最大90日間滞在可能

このビザで観光・一般的なビジネス活動が可能です。

パスポートとビザの違いは？

- * パスポート：政府が発行する身分証明書で、国際渡航の際に使用します。
- * ビザ：渡航先の国が発行する滞在許可。パスポートに貼付または捺印され、入国・滞在・通過の許可を示します。

香港やマカオにビザは必要ですか？

米国、カナダ、英国などのパスポートをお持ちの方は、30日以内の香港・マカオ滞在にはビザは不要です。しかし、中国本土へ入る場合は別途ビザが必要です。

中国ビザの有効期間は？

- * シングル・ダブルエントリービザ：発給日から90日間有効（この間に入国が必要）
- * 滞在期間は入国日から計算（例：30日、60日、90日など）
- * マルチエントリービジネスビザ：6ヶ月または1年の有効期間内に何度でも入国可能。1回の滞在期間はビザに記載されています（一般的に30～90日間）。

パスポート用写真とは？

中国ビザ申請に必要な写真は以下の要件を満たす必要があります：

- * サイズ：約1.5×2インチ（約3.5cm×4.5cm）
- * 正面を向いた顔写真

- * 白または淡い青の背景
- * 帽子や色付き眼鏡の着用不可
- * プロによる撮影（自宅での切り抜き写真は不可）

中国ビザ取得にかかる時間は？

国や領事館によって異なりますが、出発の 2 ヶ月前には申請することを推奨します。一部の領事館では急行サービスもあり、追加料金が発生することがあります。

なぜパスポートに空白のビザページが必要なのか？

中国ビザは**完全に空白のページ**にのみ貼付されます。
他国のスタンプやビザがあるページには発行されません。

ビザをパスポートの「追記ページ」に貼ることはできますか？

できません。パスポート後方の「追記・備考ページ」はビザ貼付には使えません。中国大使館・領事館もこのページへのビザ発行は行いません。

中国本土 → 香港 → 再び中国本土への渡航にはダブルエントリービザが必要ですか？

はい。香港は中国の一部ですが、入出国管理上は別の地域として扱われます。そのため、中国本土を出国し香港を訪れた後、再度中国本土に入国するにはダブルエントリービザが必要です。

中国ビザサポートサービス料金

当方のビザサポートサービス費用は 98 米ドル です。
内容には以下が含まれます：

- * 招待状の作成
- * 宿泊確認書の発行
- * 一対一の申請サポート

時間と費用を節約し、スムーズな申請をお手伝いします。



お問い合わせ先：(mailto:assistline@outlook.com)] 宛にメールでご連絡ください（ChineseSources.org 担当者まで）